

<造影 CT 検査、造影 MRI 検査をご依頼いただく先生方へ>

患者様に造影剤に関してご説明いただき、患者様に同意書への署名と問診票への記入をしていただいで下さい。造影 CT 検査では『CT 造影剤を使用する検査のための問診票および同意書』と『CT 検査伝票』、造影 MRI 検査では『MRI 検査問診票・同意書』、『MRI 用造影剤を使用する検査のための問診票および同意書』と『MRI 検査伝票』を患者様に持参していただいで下さい。

① 造影 CT 検査時の腎機能や禁忌事項に関して

- ・造影 CT 検査は、eGFR が $30\text{ml}/\text{min}/1.73\text{ m}^2$ 未満の方で透析を導入されていない方は禁忌です。
- ・eGFR が $30\sim 59\text{ml}/\text{min}/1.73\text{ m}^2$ の方では、造影 CT 検査の慎重な適応判断が必要です。
- ・eGFR が $30\sim 44\text{ml}/\text{min}/1.73\text{ m}^2$ の方では、検査前後に補液の処置が必要です。また、eGFR が $30\sim 44\text{ml}/\text{min}/1.73\text{ m}^2$ の方で、ビグアナイド系糖尿病薬を使用されている場合は、検査前後 48 時間の休薬と検査後の腎機能チェックが必要です。
- ・透析を導入されている場合は eGFR が $30\text{ml}/\text{min}/1.73\text{ m}^2$ 未満でも造影 CT 検査が施行可能です。
- ・他の禁忌事項は、ヨードアレルギー、治療を要する CT 用造影剤アレルギーの既往、重篤な甲状腺疾患、一般状態の極度に悪い方、気管支喘息、重篤な心障害、重篤な肝障害、マクログロブリン血症、多発性骨髄腫、テタニー、褐色細胞腫です。また食物や他の薬剤に対する重篤なアレルギー体質の方は、慎重な適応判断が必要です。
- ・ヒグアナイド系糖尿病薬を服用されている患者様には、検査日の前後 2 日間は薬を服用されないようご説明ください。

② MRI 検査時の腎機能や禁忌事項に関して

- ・MRI 検査は、透析の有無にかかわらず、eGFR が $30\text{ml}/\text{min}/1.73\text{ m}^2$ 未満の方では禁忌です。
- ・eGFR が $30\sim 59\text{ml}/\text{min}/1.73\text{ m}^2$ の方では、造影 MRI 検査の慎重な適応判断が必要です。
- ・eGFR が $30\sim 44\text{ml}/\text{min}/1.73\text{ m}^2$ の方では、検査前後に補液の処置が必要です。ビグアナイド系糖尿病薬の休薬は不要です。
- ・他の禁忌事項は、治療を要する MRI 用造影剤アレルギーの既往、一般状態の極度に悪い方、気管支喘息、重篤な肝障害です。また食物や他の薬剤に対する重篤なアレルギー体質の方は、慎重な適応判断が必要です。
- ・MRI 検査に関する他の禁忌事項は、「MRI 検査・同意書」に記載しております。

③ 造影 CT 検査または造影 MRI 検査において、検査前 1 食は絶食です。水分は、摂取制限のある場合を除き、造影剤による副作用のリスク低減のため、検査前後で十分な水分摂取をご指導下さい。また水分制限をされている方へのご指導もよろしく願います。

造影剤の適応や使用に関してご不明な点がございましたら、放射線科までお問い合わせ下さい。